資料１

新プランの施策の方向性について

パノラマキトキト富山に来られ

富山県

「第４次富山県観光振興戦略プラン（案）」の概要

目指す将来像

人と経済が潤う地域を創出する。

人口減少社会で持続可能な富山県を創る
観光を付加価値を生み出す産業へ
子どもたちが戻りたい富山に

富山ならではの自然・文化・暮らしの魅力が国内外に広く認知され、
付加価値の高い観光を通じて人と地域経済が潤い、地域の誇りと活力が次世代へ継承される。

基本目標

選ばれ続ける観光地

～幸せな旅と暮らしを富山県から～

FOUNDATION Ⅰ 新たな時代の観光への対応

1 観光産業の高付加価値化

Vision
観光投資と異業種参入の促進による観光産業の高付加価値化と域内経済循環の促進

2 観光DXの推進

Vision
AI・データ活用による観光マーケティングの強化と戦略的な観光地経営の推進

3 オーバーツーリズムへの対応

Vision
地域資源と暮らしを守りながら、快適な滞在を提供する観光地の実現

DESTINATION Ⅱ 持続可能な観光地域づくり

1 戦略的な観光地域づくり

Vision
国内外の旅行者の多様なニーズに対応した上質なサービス提供体制整備と観光人材の育成

2 広域観光の拠点化

Vision
広域観光周遊ルートの形成と交通利便性向上による滞在時間の延長と観光消費の拡大

3 富山らしい魅力創出

Vision
世界に誇る観光資源を活かした高付加価値な観光地域づくりと県民の誇りの醸成

PROMOTION Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション

1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進

Vision
戦略的な情報発信、富山ファンの拡大ととやまブランドの確立

2 海外誘客の推進

Vision
リピーター獲得と高付加価値旅行者に選ばれる広域周遊滞在の促進

3 ビジネス観光誘客の推進

Vision
ビジネス交流とコンベンションの誘致による交流・旅行需要の好循環創出

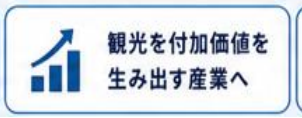
「第4次富山県観光振興戦略プラン（案）」の概要

基本目標　「選ばれ続ける観光地～幸せな旅と暮らしを富山県から～」　計画期間：R9～R13

目指す将来像

- 自然、食文化、祭り等の伝統文化や住環境など富山の日常にある幸せと上質な暮らしが多くの人に知られ、旅行者、滞在者、移住者が増加する
- 世界遺産五箇山、立山黒部、富山湾などここにしかない「特別感」のある観光地や、富山の暮らし自体が持つ魅力を最大限に活かし、付加価値の高い富山旅が提案され、人と経済が潤う地域が創出される。
- 観光が地域を支える成長産業として発展し、富山ならではの自然、食、文化が育む「誇り」と「豊かさ」が次世代へ継承される。







施策と目指したい姿

Ⅰ 新たな時代の観光への対応

施策の方向	目指したい姿（Vision）	主要施策
1 観光産業の高付加価値化	・観光産業への投資が促進され、異業種参入や多様な産業との連携が進んでいる。 ・高付加価値宿泊施設や観光コンテンツが充実し、観光による付加価値が地域全体に波及し、観光産業が地域を支える持続可能な産業となっている。	①観光投資の促進と高付加価値宿泊施設の充実 ②DMC等による高付加価値な旅行商品の企画・造成・販売力の強化 ③観光産業と他産業連携による域内経済循環の促進
2 観光DXの推進	・生成AIやAI検索の普及による旅行者の行動変容に対応した観光マーケティングにより、外国人個人旅行者（FIT）の多様なニーズに応じた情報発信が行われている。 ・デジタル技術の活用により、旅行者の利便性と観光事業者の生産性が向上し、快適で満足度の高い観光サービスが提供されている。 ・データや顧客情報を活用した戦略的な観光地経営が行われ、効果的な誘客やリピーターの確保につながっている。	①デジタル技術を活用した観光コンテンツ・サービスの充実化 ②データ・AIを活用した効果的・効率的な観光地経営 ③顧客情報を活かしたリピーター確保と受入態勢整備 ④DX・AI活用による観光事業者の生産性向上
3 オーバーツーリズムへの対応	・観光需要の適切な分散・平準化と受入環境の整備が進み、閑散期や冬季を含め年間を通じて安定した観光需要が確保され、旅行者が快適に周遊・滞在できる観光地となっている。 ・地域住民の暮らしや地域資源が守られ、観光客と地域住民がともに豊かさを実感できる持続可能な観光地となっている。	①観光需要の分散・平準化 ②観光地における面的な受入環境の整備 ③観光客の受入と地域住民の生活の質の確保の両立 ④持続可能な観光地域づくりを支える安定的な観光財源の確保

Ⅱ 持続可能な観光地域づくり

施策の方向	目指したい姿（Vision）	主要施策
1 戦略的な観光地域づくり	・県DMOを中心に、ビジョンを共有した観光人材が、県内各地で観光地域づくりをけん引し、多くの商品・サービスが創出され、域内経済循環が高まる。 ・観光人材や観光関連事業者が、地元の上質な暮らしの魅力を理解し、誇りを持って旅行者に多様なニーズに対応した商品・サービスを提供する。 ・富山の観光関連産業が、国内外の観光の文化や消費動向を理解し、旅行者を受け入れる環境が整備されている。	①県DMOの組織・機能のさらなる充実と専門性向上による「稼げる」観光地域づくり ②観光を担う人材の確保・育成と地域における活躍促進 ③旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備 ④外国人個人旅行者（FIT）受入環境の整備
2 広域観光の拠点化	・北陸三県・岐阜県・長野県を旅行する拠点として、国内外に富山が認知され、富山を拠点とした旅行者の周遊観光が活発になる。 ・旅行者がスマートフォンを利用して、最適な交通手段を選び、キャッシュレスで県内外をストレスなく移動できる。 ・県内新幹線駅とその周辺が国内外の旅行者の日帰り観光拠点として認識されている。 ・立山黒部・世界遺産五箇山・富山湾を核とした広域周遊ルートが形成され、滞在時間の延長と観光消費の拡大が実現している。	①広域観光の拠点としての機能充実と情報発信 ②主要駅、富山高山すし空港等と県内外観光地を結ぶ二次交通の利便性向上 ③新幹線駅周辺等における賑わい創出・魅力向上 ④立山黒部・世界遺産五箇山・富山湾を核とした周遊滞在の促進
3 富山らしい魅力創出	・富山の観光資源が持続可能な状態であり、県民や旅行者が将来にわたってその素晴らしさに触れることができる。 ・富山でしか経験できない商品・サービスが揃い、旅行者が上質な暮らしや本物の価値・魅力を体験することができる。 ・欧米などの成熟した観光文化や国内外のハイエンドの旅行者のニーズに対応できる量より質の高付加価値な商品・サービスが揃っている。 ・世界水準の観光地である立山黒部の魅力を活かしその恩恵が県全体に広く行き渡る。 ・県民や県内事業者が、富山をよく知り、地元や暮らしを誇り、自ら富山の日常にある幸せや魅力を発信する。	①「立山黒部」の高付加価値化と魅力の維持向上 ②「世界で最も美しい富山湾」の魅力の創出・磨き上げ ③富山の強みを活かした高付加価値のコンテンツ造成 ④「富山らしい」コンテンツの〔造成〕＝〔流通〕＝〔購入〕までのサプライチェーンの整備 ⑤体験型・滞在型の多様なツーリズムの展開 ⑥地元の魅力再発見・郷土への誇りの醸成

Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション

施策の方向	目指したい姿（Vision）	主要施策
1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進	・観光を通じて富山の魅力が広く認知され、「とやま」と言う単語自体が全国ブランドとなり多くの富山ファンが全国に存在する。 ・WEBやSNSのコンテンツをきっかけに富山旅行に興味を持ち、来訪につながっている。 ・富山に関心の無い方が、映画やメディア等で富山に触れ、興味関心を持つ。	①国内の旅行者に届く戦略的な情報発信 ②「富山ファン」の獲得・拡大と継続的な関係づくりによる関係人口創出 ③映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携
2 海外誘客の推進	・東アジア市場を基盤としつつ、欧米豪、東南アジアから誘客が拡大し、富山の魅力的な地域資源が広く認知され、リピーターが増加している。 ・高付加価値旅行者が富山に長期滞在し、日常の上質な暮らしを体験している。 ・北陸や飛騨地域等との広域連携により、近隣県との周遊ルートが定着している。 ・海外の個人旅行者が、旅マエに富山の情報を得ることができ、メディア等で富山を知る機会が増えている。	①海外の個人旅行者に届く効果的な情報発信 ②東アジア・東南アジアからのリピーター客の取り込み ③欧米豪からの高付加価値旅行者の誘致促進 ④近隣県等との連携によるプロモーションや広域周遊の促進 ⑤旅行会社・OTA等を活用した販路開拓・拡大
3 ビジネス観光誘客の推進	・産業の集積を背景に、富山がビジネス交流の拠点となり、県内の観光施設や宿泊施設など、県内に安定した観光需要が創出される。 ・ユニークベニューの活用促進、富山の特色を生かしたコンベンション参加者向け体験コンテンツの造成など、コンベンション開催地としての魅力が向上し、ブランディングが確立している。 ・ビジネスなどで訪れる関係者が、富山の魅力を体感し、富山のリピーターや推薦者となり新たなコンベンションの開催や旅行需要を喚起する好循環が生まれる。	①ビジネス客の滞在・観光消費の拡大 ②ものづくり県としての強みを活かした産業観光の促進 ③本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション等の誘致 ④富山の魅力を活かした会場やアフターコンベンション等の提案

5年間で実現をめざす観光の姿（方向性）

○ 立山黒部・世界遺産五箇山・富山湾を核とした周遊滞在の促進

①立山黒部を中心とした、富山、黒部峡谷、宇奈月、長野等をつなぐ広域観光周遊ルートの形成

②世界遺産五箇山を中心とした、県内外の観光地を結ぶ面的な広域観光周遊ルートの形成

③富山湾を中心とした、食、絶景、体験などを楽しむ広域観光周遊ルートの形成

○ 国内外の旅行者の多様なニーズに対応した上質なサービス提供体制整備

①DMCを中心とした、FIT（外国人個人旅行者）向けサービスの充実

②高付加価値宿泊施設の充実

③上質なサービスを提供できる観光人材の育成

